

# 消費者

## 子どもの事故防止！ ～大人が注意すべきこと～

注意力が散漫な小さい子どもは、時として命に関わるような事故に遭う場合があります。そのため、周囲の大人たちが、子どもの身の回りの環境に注意を払い、事故を未然に防ぎましょう。

### 【誤飲による事故】

小さな子どもが誤飲しやすいものとして、たばこ、医薬品、プラスチック製品などがあり、飲み込んでしまうと大変危険です。



また、幼児が複数の強力な磁石を誤飲した事例もあります。誤飲された磁石は、腸壁を挟んで磁力で引き合ったことで、腸に穴を開け、磁石を取り出すために開腹手術を行わなければなりませんでした。

誤飲しやすい物は子どもの目に触れない場所や、手の届かない場所に保管しましょう。

### 【室内での事故】

春から夏にかけて多く起きるのが、窓やベランダからの転落事故です。保護者が目を離した際に、子どもが窓枠やベランダの手すりを乗り越えたり、窓の網戸やベランダのパ

ネルが外れたりして転落するケースが見られます。

日ごろから子どもの行動や居場所を把握するように心掛けたり、転落の恐れがある場所に子どもを近づけないようにしたりして、転落を未然に防ぎましょう。

### 【水辺での事故】

子どもが屋外で活発に遊ぶ夏休みは、海や川、プールなどでの「水の事故」が多く発生します。統計によると、「4歳以下」の子どもによる海での事故の半数以上は、「保護責任者の監視が不十分であったこと」が原因で発生しています。

海や川などで遊ぶときは、子どもにライフジャケットを正しく着用させ、必ず大人が付き添うようにしてください。危険な場所に子どもを行かせないよう注意しましょう。

\* \* \*

消費者センターでは、市内・県内で発生した消費者トラブルをメールマガジンで配信しています。ぜひ、ご登録ください。



登録はこちら

### ■問い合わせ

消費者センター(☎829・1234)